



デイサービス・デイケア等の通所サービスを利用する事は、本人のみならず介護を担う家族にとってもホッと息抜きや休息が持てる貴重な時間ではないでしょうか？

認知症になると、どうしても以前より引籠もりがちな生活となり、活動量が減り生活リズムが崩れやすく、昼夜逆転といった悪循環を生み出します。通所サービスを利用する事で、この悪循環を改善し、家族以外の多くの人と触れ合い、お話をし、時には大声で笑う事は認知機能維持にとっても効果的です。しかし、高齢者の中には、様々な理由で通所サービスの利用を拒否する方も多くいます。更に認知機能が低下していれば、必要性の理解が困難で変化や初めての事柄を受け入れるのには不安感が強くなります。そんな場合、頭ごなしに説得するとかえって逆効果となり、家族も本人も嫌な

気持ちを抱えてしまうものです。私達ことのはスタッフは、お迎えの際に拒否があれば時間をずらして再度訪問したり、短時間の利用から初めて環境に慣れて貰ったりと様々な対処を行っています。時に本人の生活史から得意分野を拾い出し、『お話ボランティア』『編み物の先生』『調理補助』『かご職人』と様々な役割を来ていらっしゃる方もいます。



本人も家族も「通って幸せ」と思えるサービスを提供するために、ことのはスタッフは知恵を絞りますので現在通所サービスを拒否されている方がいらっしゃれば、是非ご相談下さい。

NS 山元 明香



どうしたらいいの？



相談窓口

皆さん同窓会、参加しますか？ほとんどが、幼少から知る級友達とは自然と心開いて、いろんな話題で盛り上がりますよね。その話題も会う年齢とともに変わっていくのですが後半ぼつりと咳くのは、体調や病気・親の介護など：「皆、年とったなあ」という話が多くなる年齢になりました。

私も職業柄、介護相談を受ける事が多くなりましたが、一番多いのが「何処に？・何をしたら？・分からない事がわからない。」という内容でした。特に奄美を離れて生活をされてる方達には、介護情報は皆無の印象を受けました。

独居生活・老老介護も多く、奄美ならではの問題に心配・不安はあっても、何か起こるまで、何の予備知識もないまま時を経過されている方達が多いのには驚きました。

日頃から身体面、精神面の理解をしておかないと、体調を崩してからでは状況を把握するには時間を要します。

家族で見守るのも大事ですが、外部サービスなど、『何が・何時・どうしたら利用出来るか？』など把握しておくのも大事な要素だと思います。予定や計画がたてにくい問題ですから病院や役所等の各窓口はしっかりと調べておき、出来るうちに家族との「どうなの？・どうしたいの？」の会話を試みてはいかがでしょうか？



CW 森田 和博

毎月 見え検 開催
見える専門検診会
Visible Insidigen Care Congress

開催日時は facebook 等でお知らせしています。職種にこだわらず、どなたでも参加出来ます。皆さんの職場で困っている実際の事例を随時募集しております。お気軽にご連絡下さい。

デイケア ことのは
住み慣れた集落での生活をサポート

認知症専門スタッフ
医療と介護のWサポート

認知症専門医師
精神科看護師
認知症ケア専門士

作業療法士
介護福祉士
保健師

作業療法士の個別リハビリ

365日島内全域対応 お試し利用随時受付中!!

『見え検』報告

第21回 1月24日

「仙人のような生活をしてきた」
独居高齢者が認知機能低下した事例」



対象者は長い間、自給自足の様な生活で、人の関わりもほとんどなく過ごしてきました。徐々に認知機能低下に伴う問題行動が目立ち、近隣の方々が心配し包括へ連絡サービス導入へ繋がった事例です。

現在では状況も落ち着き、今後の生活をより良くするにはどうしたら良いか…？

- ① 今後の身元保証、金銭管理。(成年後見制度も視野)
- ② 緊急時の連絡手段の確立。
- ③ 集落内での交流促進支援。

マップ中心に書かれた本人のよく言う言葉は「座って茶飲んでいけ！」

対象者は、人との交流を求めているようなエピソードもあり、これからの暮らしでの本人のニーズであり、対象者中心のケアを考える上で忘れてはいけない部分だと感じました。



第22回 2月28日

「統合失調症 + ADに飲酒問題…」
今後在宅でどう支えるか？」

今回は初めて当院からの事例提供でした。受診・服薬不規則で自宅は行政介入が必要なほどゴミ屋敷となっていた為訪問看護が導入されました。ほぼ毎日訪問し服薬・生活指導を行うものの対象者は現状に全く困っておらず、更に飲酒問題が関連し精神・身体状態が悪化していく悪循環を招いていました。借金・心疾患による突然死のリスク・妄想に左右された突発的行動…問題は山積みです。



今回も様々な意見から次のアクションプランが立ちました。

- ① 障害者総合支援法利用し生活面(環境整備)の支援から介入と同時に精神保健福祉手帳申請へ。
- ② 金銭管理を含め兄との関係作り。

対象者は「まだ若いから」とサービス導入拒否していましたが、自尊心を傷つけず、利用可能なサービスのメリットを根気強く伝えていく重要性を再認識し、看護の基本でもある環境整備や家族との関係作りの大切さを気づかされました。

『見え検』は毎月開催しています。日頃困っている案件も多職種のみんで検討すれば新たな方向性が見えてきます。事例も随時募集していますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



在美初
点滴サロン Open!
医療点滴
抗がん剤点滴
パーキンソン病点滴...他
アンチエイジング
マイアズカケル プラセンタ
高濃度ピタミンC @ リポ酸
疲労回復点滴 美容点滴
ニンニク注射 ダイエット点滴...他
遅延型フードアレルギー検査(米国)行います
※点滴療法は自費診療となります

春は生活環境が大きく変わる季節です。新しい環境にうまく馴染めなかったり、頑張りすぎたりして5月の連休過ぎあたりから心身の状態を崩してしまうことを「五月病」といいます。

通称「五月病」
5月に
関わらず人によ
っては疲労やスト
レスがピークに達
した頃に症状が出
てくることもよく
あります。

『やる気がない』
『気持ちが落ち込む』
『イライラする』
『眼れない』など…

これらのサインは特別な症状でないため見逃してしまいがちです。変調を感じたら、まずはたっぷり休息を取り趣味やリラクセスするなど気分転換をしてみてください。

また、誰かに相談したり愚痴を言っても気持ちが楽になりません。私はよくこの手を使って発散しています。(笑)

実際クリニックの患者さんにもこの様な症状で悩んで来られる方も少なくはありません。

それでも症状がよくならない場合や不調を感じたら早めの治療が大切です。お気軽にご相談下さい。

事務 大野 理恵

活動報告

活動予定

1月活動報告

- 21日 B・SAP全国フォーラム : 講演 (院長)
- 24日 第21回見える事例検討会 2F ことのは : カワカネ (院長・原口保健師)
- 26日 日精協認知症認定看護師試験 :

2月活動報告

- 28日 第22回見える事例検討会 2F ことのは : カワカネ (院長・原口保健師)

3月活動報告

- 21日 瀬戸内町役場メンタルヘルス研修 : 講師 (院長・原口保健師)
- 28日 第22回見える事例検討会 2F ことのは : カワカネ (院長・原口保健師)

5月活動予定

- 21日 アンチエイジング・認知療法セミナー : (院長・原口保健師)
- 26日~27日 認知症ケア学会 : (院長・原口保健師)

6月活動予定

- 22日~24日 日本神経学会 : (院長・原口保健師)